

## Secure Boot 復旧手順 (WS2022)

本書は、OS の再インストール時に既存の Windows メディア、リカバリメディア等から起動できない事象が発生した場合の復旧手順を示します。

### 【適用】

以下の設定でお使いのお客様で、ご購入済みの Windows メディアや KB5025885 適用前のリカバリメディアから起動し再セットアップ時にエラーが発生した場合。

- ・セキュアブートが有効
- ・KB5025885 を適用済み
- ・KB5025885 内の記載手順(軽減策の展開ガイドライン 3.失効を有効にします。)に従い DBX を更新済み

### 【対象 OS】

- ・ Windows Server 2022

### 【作業時間の目安】

本作業は装置や構成によって異なりますが1項の作業はおよそ10分程度、3項の作業はおよそ60分程度です。(2項の再インストールもしくはリカバリ時間を除く)

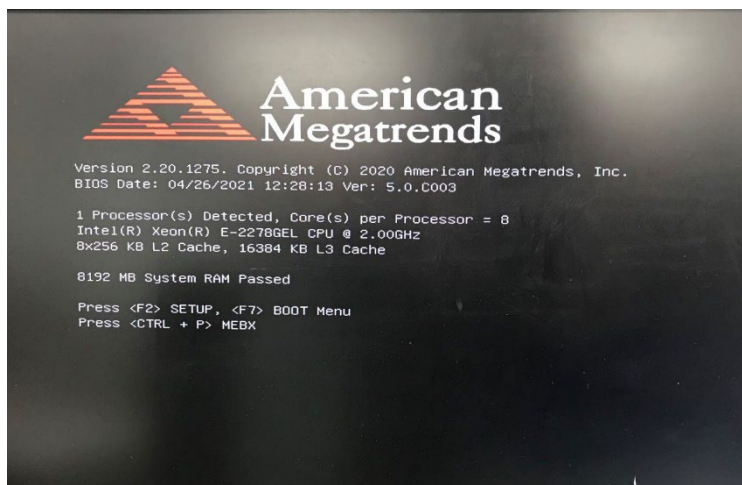
### 【復旧手順】

#### 1. Secure Boot Variable を工場出荷時の状態に戻す

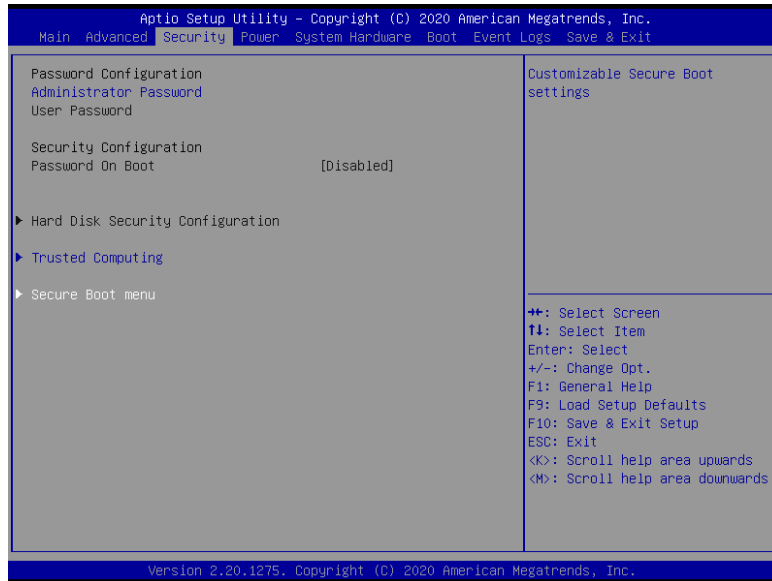
以下の手順で実施してください。

実際の設定項目については、対象機器のユーザズマニュアルをご参照の上、読み替えて実施をお願いします。

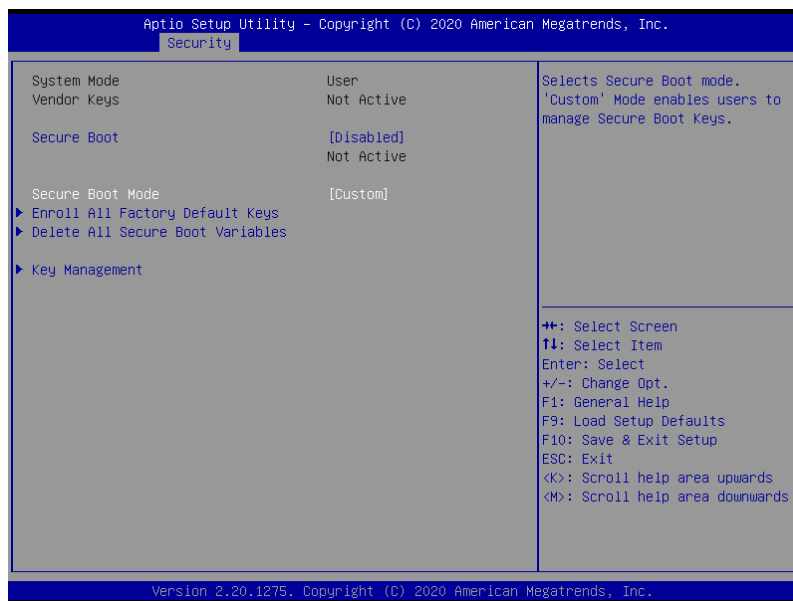
- (1) 本体の電源を入れた後に表示される BIOS 起動画面で、Press <F2> SETUP, <F7> BOOT Menu が表示されたら【F2】もしくは【DEL】を押します。



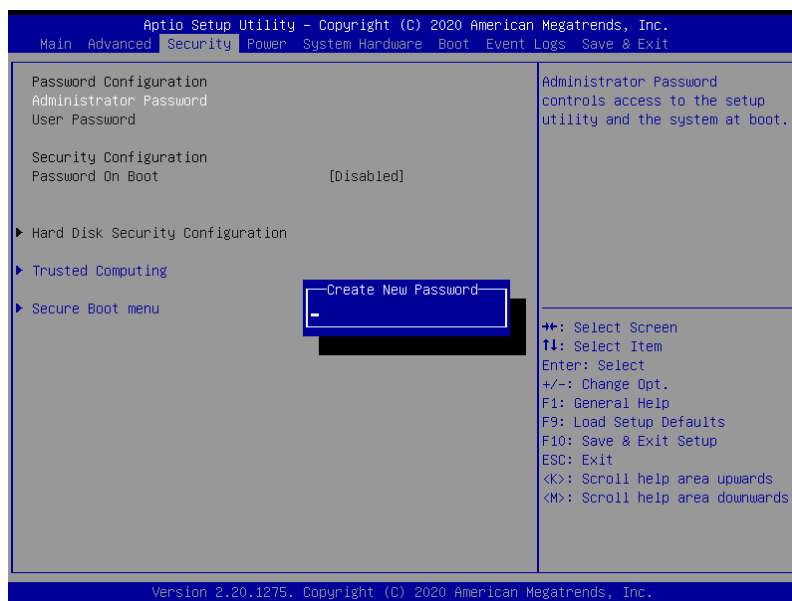
(2) BIOS セットアップメニュー起動後、『Security』に移動し、『Secure Boot menu』を選択します。



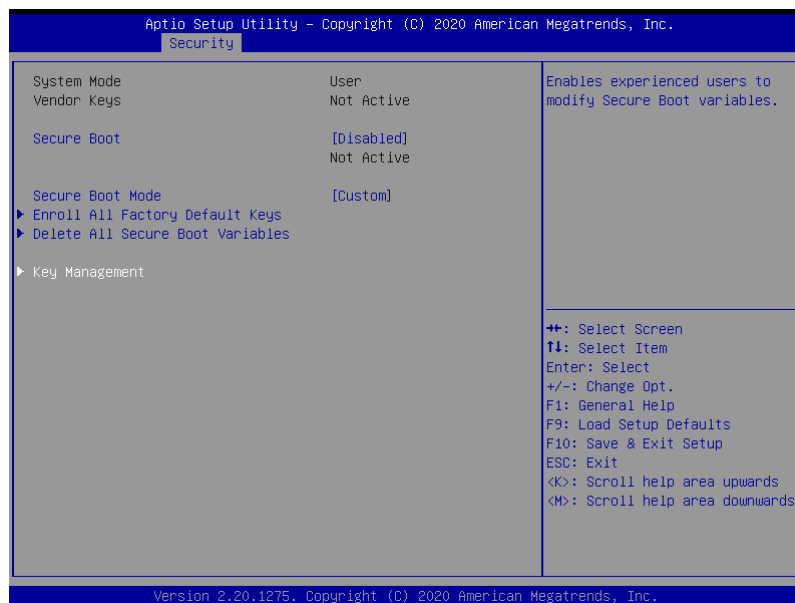
(3) 『Secure Boot Mode』を"Standard"から"Custom"に変更してください。



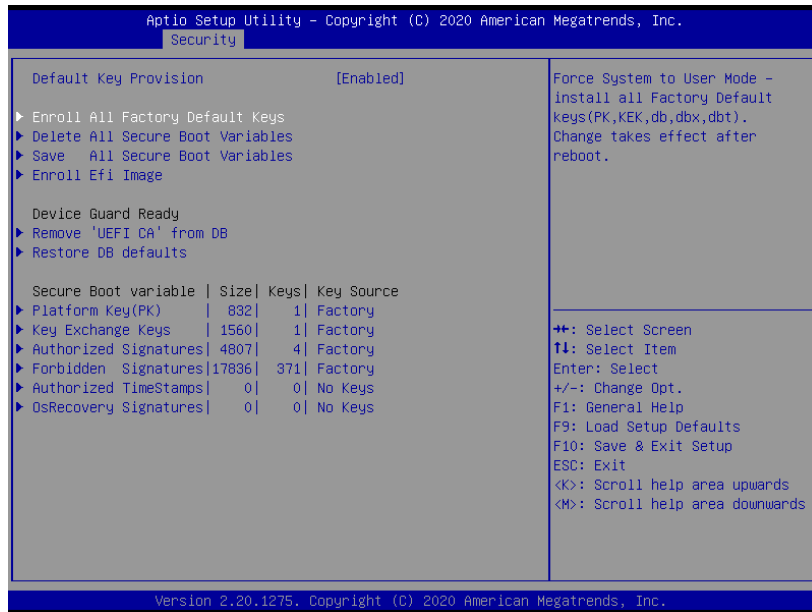
注) 『Secure Boot Mode』 が選択不可の場合、<ESC>キーを押下して『Security』画面に戻り、『Administrator Password』に任意のパスワードを設定してください。設定したパスワードは忘れないようにしてください。その後、再度『Secure Boot menu』を選択してください。



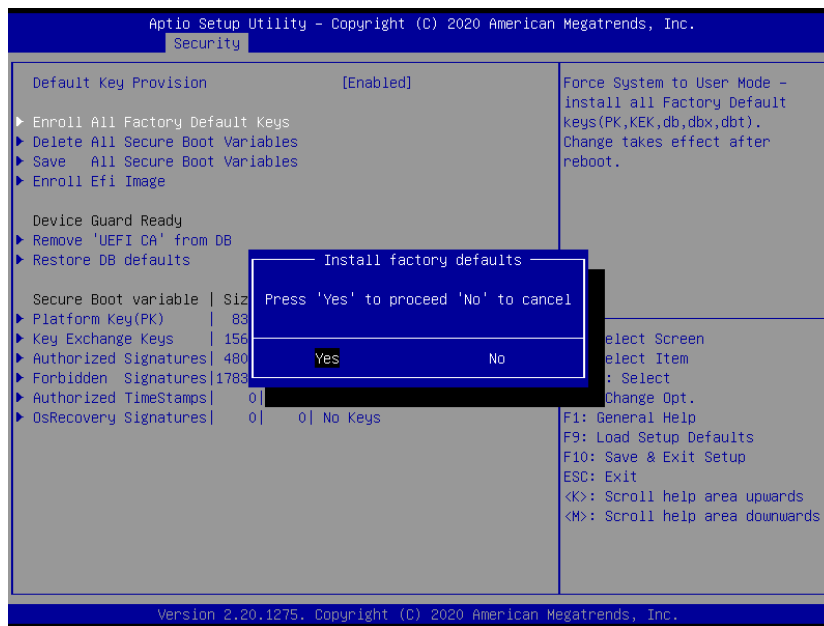
(4) 『Key Management』を選択してください。



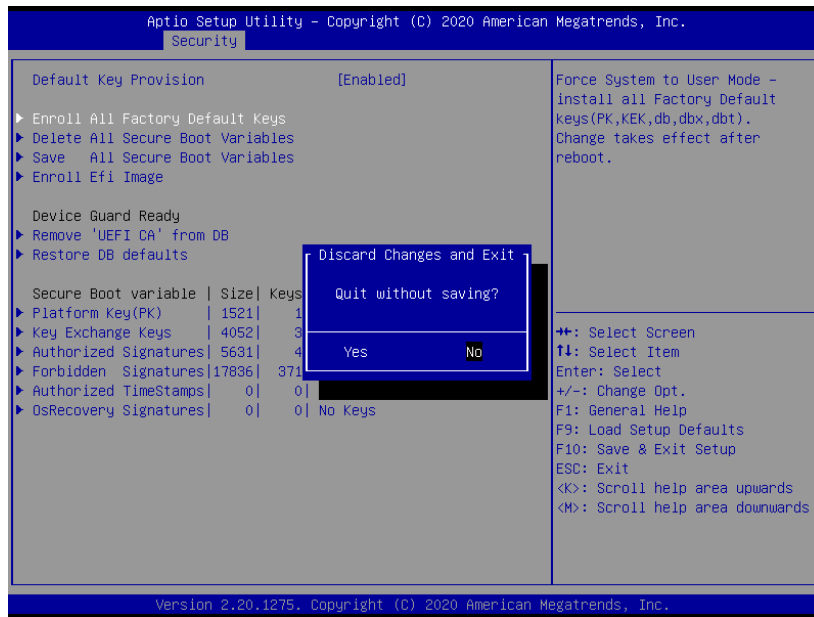
(5) 『Enroll All Factory Default Keys』を選択してください。



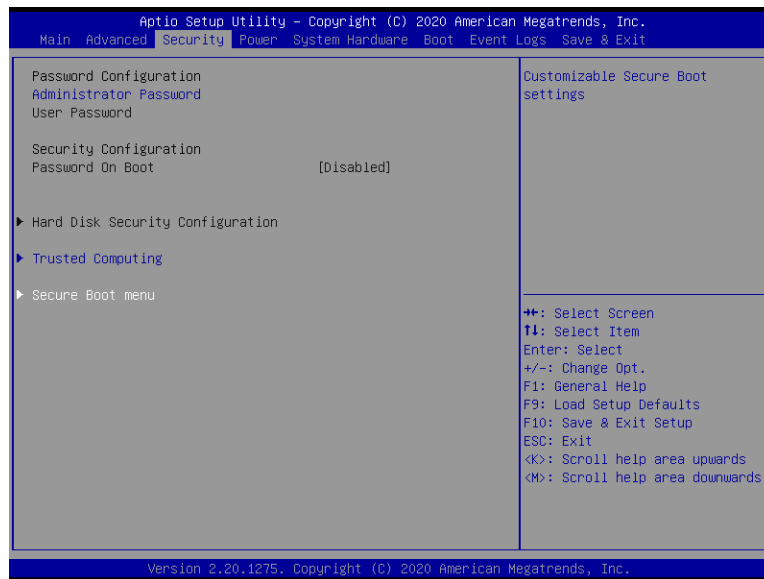
(6) "Yes" 選択してください。Secure Boot Variable が工場出荷時の状態に戻ります。



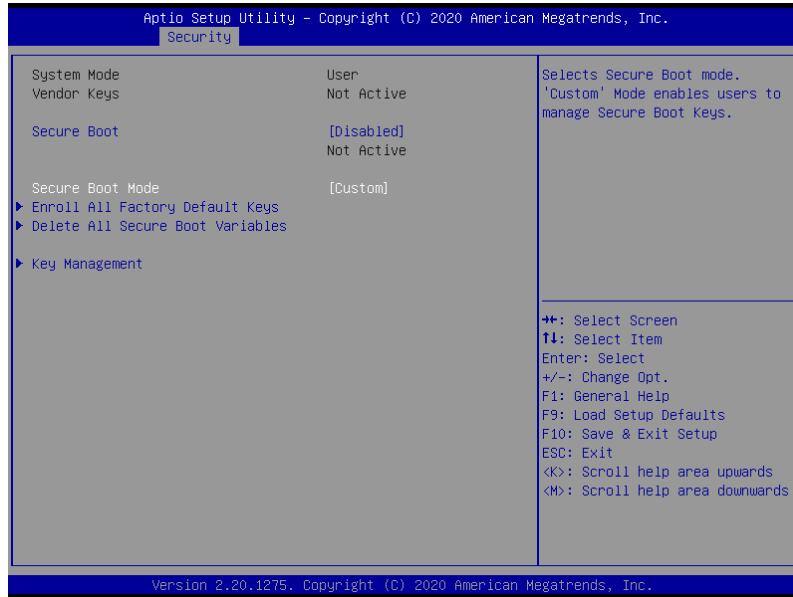
注) Secure Boot Variable を工場出荷時の状態に戻した直後、対象機器によっては『Discard Changes and Exit』画面が表示されます。その場合は "No"を選択してください。



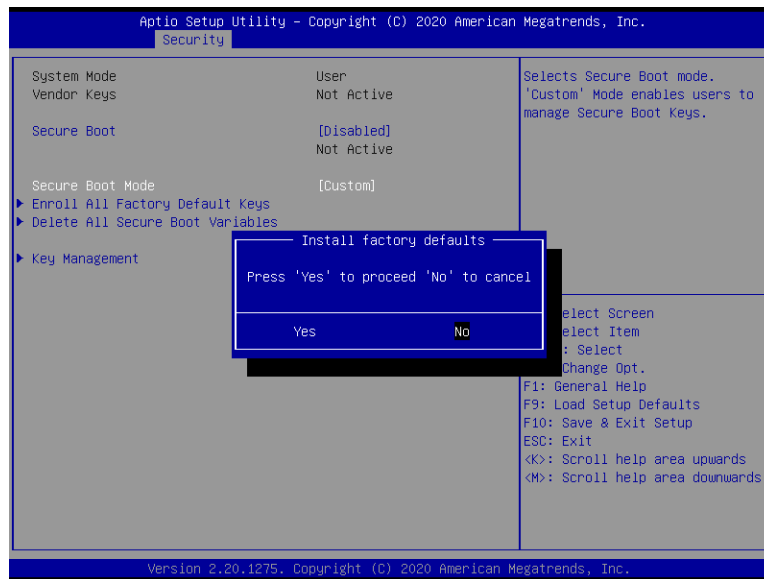
(7) <ESC>キーを押下して『Secure Boot menu』画面に戻ってください。



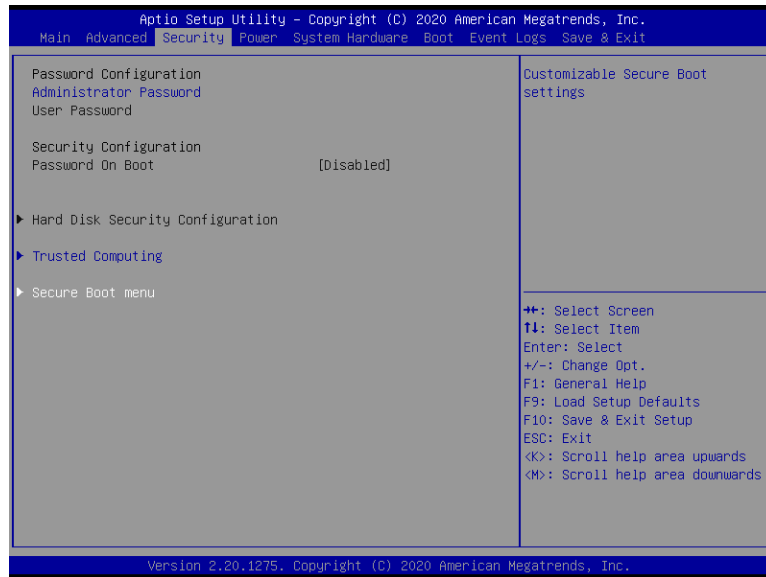
(8) 『Secure Boot Mode』を" Custom"から" Standard"に変更してください。



注)対象機器によっては"Standard"を設定後に『Install factory defaults』メッセージが表示されます。その場合は "No"を選択してください。

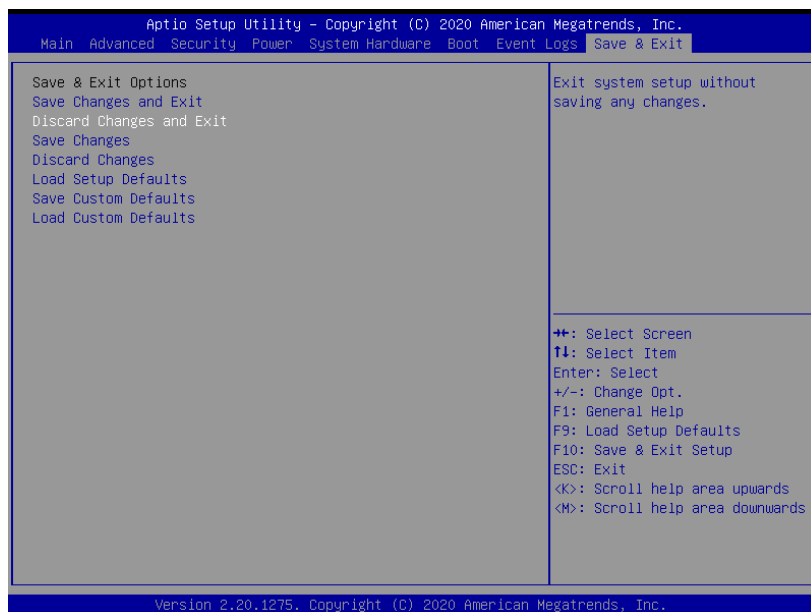


(9) <ESC>キーを押下して『Security』画面に戻ってください。



注) (3)で『Administrator Password』に新規に任意のパスワードを設定していた場合、『Administrator Password』のパスワードをクリアしてください。

(10) 『Save & Exit』に移動し、『Discard Changes and Exit』を選択して、BIOS セットアップメニューを終了してください。



## 2. OS の再インストール

問題の現象は回避された状態になる為、OS の再インストールもしくはリカバリを実施してください。OS の再インストール、リカバリについては対象機器のユーザーズマニュアルをご参照ください。

## 3. KB5025885 の再適用

KB5025885 の再適用については、以下の Microsoft のサイトの”軽減策の展開ガイドライン”の章をご参照ください。

(<https://support.microsoft.com/ja-jp/topic/5025885>)

注) ”軽減策の展開ガイドライン”に記載されている手順を実施する場合、“4. SVN 更新プログラムをファームウェアに適用します。” の手順を実施するとファームウェアの SVN とブートローダの SVN の比較機能が追加されます。

KB5025885 適用後の状態でリカバリメディアを作成頂いた場合でも、SVN が更新されるたびに、再インストール時に本復旧動作が必要となります。

(※)SVN：BIOS に格納されているセキュリティで保護されたバージョン番号 (SVN)

以上で復旧手順は終了です。